

デリカフーズグループ 会社説明会



Delica Foods Group company information

平成24年5月14日(月)

デリカフーズ株式会社 IR室





1 会社概要

デリカフーズとは

沿革

グループ会社

事業概要



デリカフーズとは

私たちは、業務用の**八百屋**です。(東証2部 証券コード3392)

外食・中食・コンビニエンス産業に

日本全国・365日 新鮮な野菜を
お届けしています。





会社概要

(平成24年3月31日現在)

商号	デリカフーズ株式会社
本社所在地	東京都足立区六町四丁目12番12号
決算期	3月
創業	昭和54(1979)年10月
設立	2003年4月(持株会社設立)
株式上場市場	東証二部 証券コード3392 (2005年12月:東証二部上場)
従業員数	グループ:203名(平均臨時雇用者数1,132名)
資本金	759百万円(連結)
売上高	23,192百万円(連結)
事業内容	ホール野菜の販売、カット野菜の製造販売 等
関係会社	東京デリカフーズ株式会社 (東京都足立区) 名古屋デリカフーズ株式会社 (愛知県弥富市) 大阪デリカフーズ株式会社 (大阪府茨木市) デザイナーフーズ株式会社 (愛知県名古屋市) 株式会社メディカル青果物研究所 (福島県伊達市)

今年で創業34年目を
迎えます。

青果物業者としては、日本
で唯一の上場会社です。



沿革

たちもと いさたけ

昭和54年、創業者 館本 勲武（現・デリカフーズ株式会社代表取締役）が愛知県名古屋市で創業。

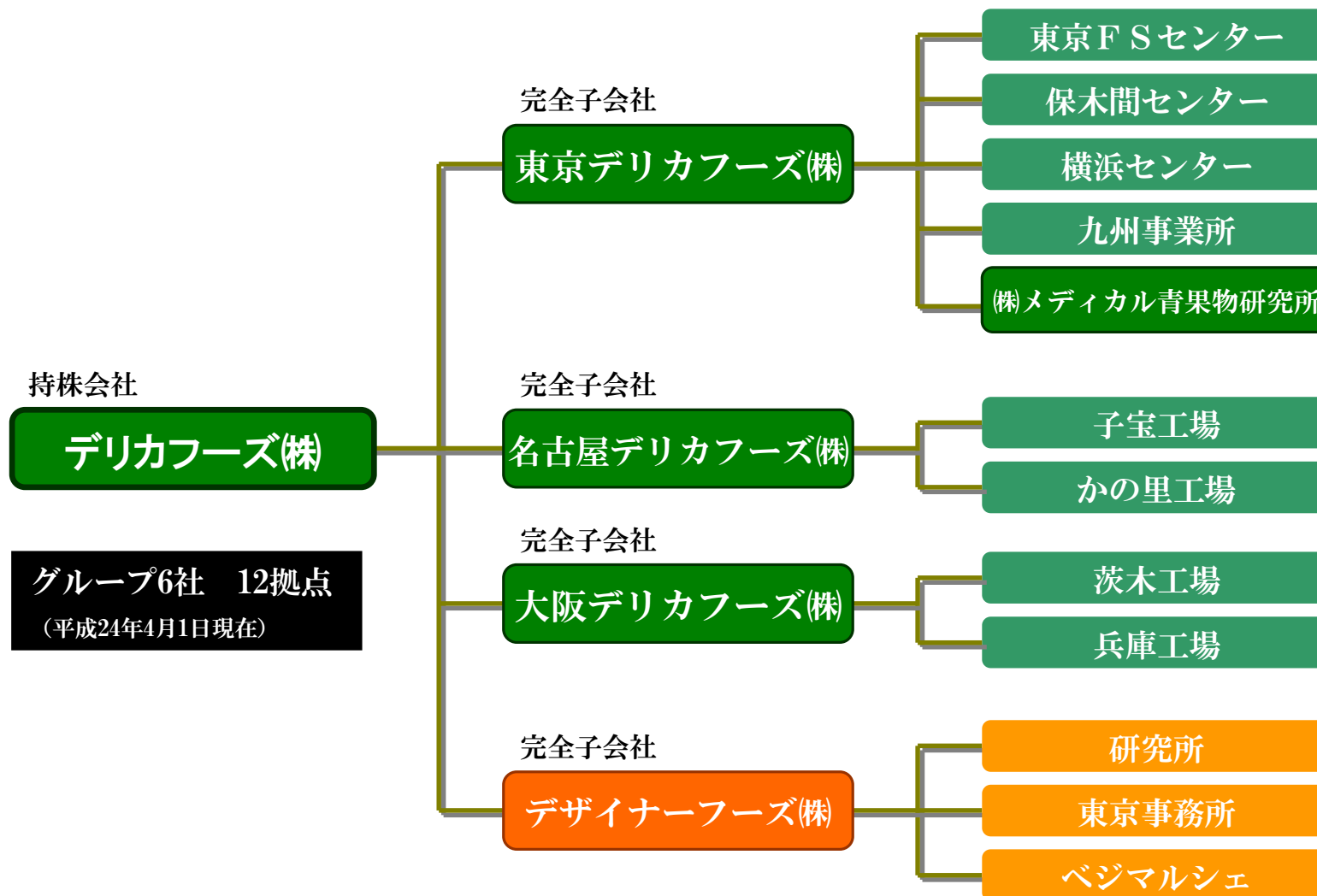
昭和 54 年 10 月
昭和 59 年 12 月
平成 2 年 5 月
平成 6 年 6 月
平成 9 年 9 月
平成 14 年 1 月
平成 14 年 5 月
平成 14 年 12 月
平成 15 年 4 月
平成 16 年 4 月
平成 17 年 12 月
平成 19 年 3 月
平成 22 年 6 月
平成 22 年 12 月
平成 24 年 3 月

- デリカフーズ株式会社設立（現 名古屋デリカフーズ株式会社）
- 東京デリカフーズ株式会社設立
- 大阪デリカフーズ株式会社設立
- 兵庫県明石市に大阪デリカフーズ（株）神戸工場開業
- 株式会社メディカル青果物研究所設立
- 神奈川県大和市に横浜センター移動
- 愛知県弥富市に名古屋デリカフーズ（株）子宝工場開業
- 大阪デリカフーズ（株）本社を大阪府茨木市宮島に移転
- デリカフーズ株式会社（持株会社）設立
- デザイナーフーズ株式会社を完全子会社化
- 東京証券取引所市場第二部に上場
- 大阪デリカフーズ（株）神戸事業所を移転。兵庫工場に改称。
- 東京デリカフーズ株式会社 東京FSセンター開業
- 東京六本木アークヒルズにベジマルシェがオープン
- 福岡県古賀市に東京デリカフーズ（株）九州事業所 開業





グループ組織図





グループ会社の展開

直営7拠点とエリア協力企業を繋ぎ
全国1万店舗へデリバリー

- 直営拠点
- ☀ 協力企業

完全子会社

(株)メディカル青果物研究所

福島県伊達市

カット野菜

ホール野菜

持株会社

デリカフーズ(株)

完全子会社

東京デリカフーズ(株)

東京都足立区

カット野菜

ホール野菜

デザイナーフーズ(株)
ベジマルシェ

東京都港区

店舗

セミナー

東京デリカフーズ(株)
横浜センター

神奈川県大和市

カット野菜

ホール野菜

過熱野菜

完全子会社

名古屋デリカフーズ(株)

愛知県弥富市

カット野菜

ホール野菜

完全子会社

大阪デリカフーズ(株)

大阪府茨木市

カット野菜

ホール野菜

大阪デリカフーズ(株)
兵庫工場

兵庫県加古郡稲美町

カット野菜

ホール野菜

東京デリカフーズ(株)
九州事業所

福岡県古賀市

ホール野菜

完全子会社

デザイナーフーズ(株)

愛知県名古屋市

研究開発

セミナー



2 事業内容

事業概要

取扱商品と販売先

R&D部門の取り組み

ベジマルシェ



事業概要

デリカフーズは、野菜の仕入・加工・物流をワンストップで行っています。





取扱商品と売上構成

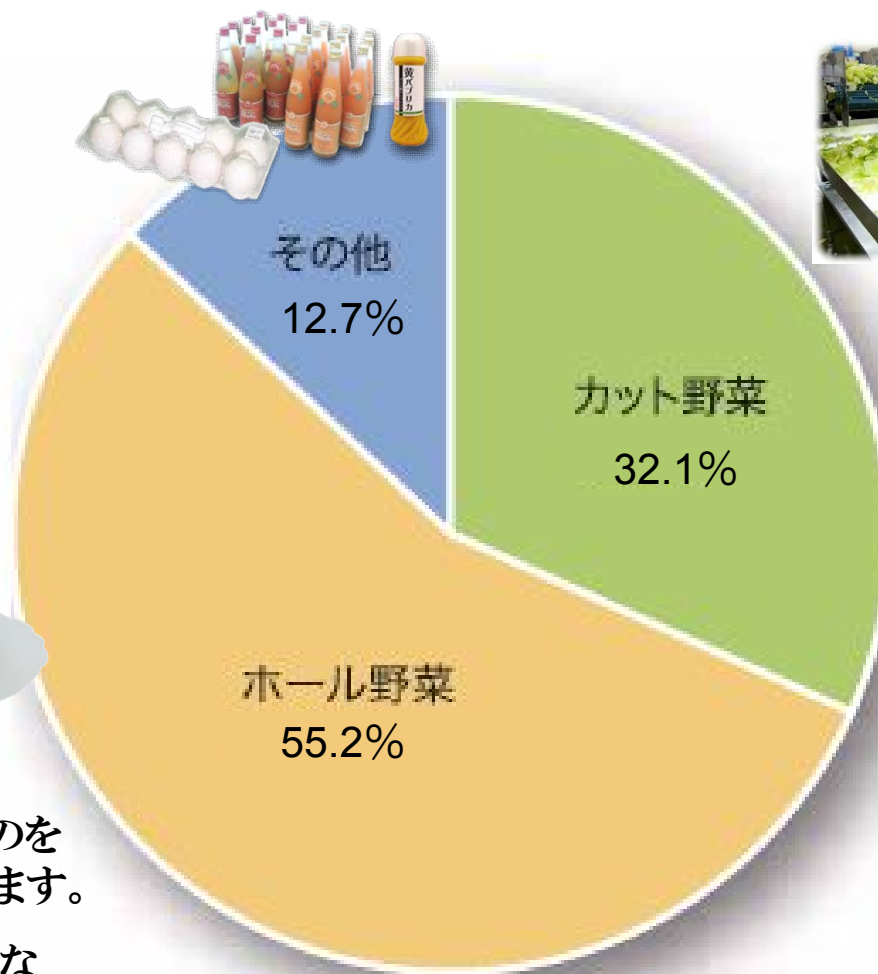
部門別構成比(売上高ベース)

ホール野菜



加工しない野菜そのものを
ホール野菜と呼んでいます。

アイテム数も多く、多様な
ニーズにお応えできます。



カット野菜

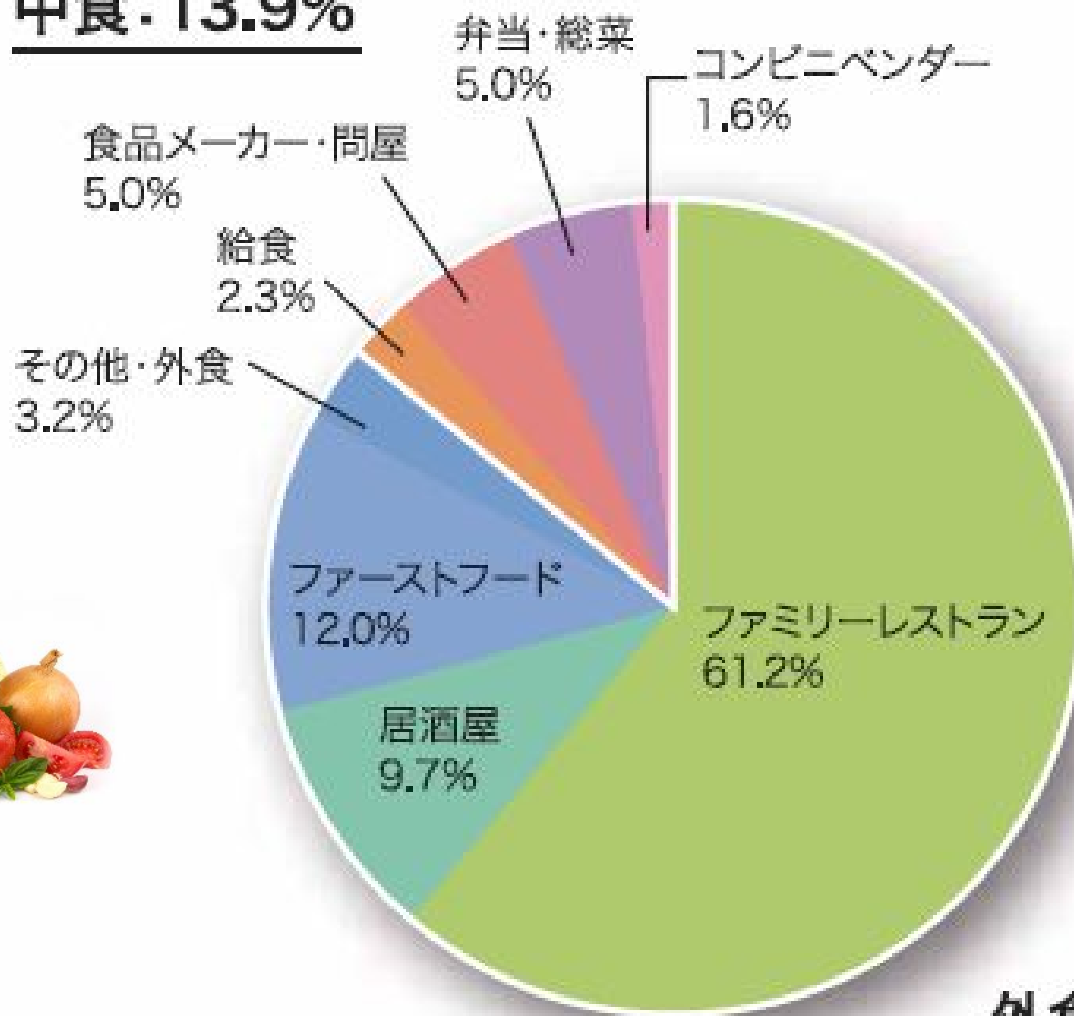


開封してすぐに食べられる
カット野菜は、外食産業に
支持されています。



販売先業態と売上構成

中食: 13.9%



取引先の業態別構成比
(売上高ベース)

● 外食

ファミリーレストラン 61.2%
居酒屋 9.7%
ファーストフード 12.0%
その他外食 3.2%

合計 86.1%

● 中食

食品メーカー・問屋 5.0%
弁当・総菜 5.0%
コンビニエンスストア 1.6%
給食 2.3%

合計 13.9%



外食: 86.1%



R&D部門の取り組み

野菜の成分分析（野菜ルネッサンス）

- 野菜の価値を高めるため、従来の『カタチ』ではなく、『ナカミ』の栄養価（健康度）で評価。
10年以上に渡る分析データは2万検体を超え、国内唯一のデータベースとして活用。
現在、行政・農業団体・実需者・研究機関などから高い評価と注目を浴びている。

野菜の価値向上

- 野菜の栄養成分（健康成分）を「抗酸化力」「免疫力」「解毒力」に分類し、数値化して表現
- 野菜の栄養成分を瞬時に非破壊で分析する装置の開発



10年間で2万検体を分析



非破壊測定機の開発



研究・開発部門からの提案営業



黄パプリカ

抗酸化力



免疫力



ブロッコリー

抗酸化力



免疫力



白ネギ ⇒ 焼く

抗酸化力



190

免疫力



トマト

抗酸化力



免疫力



ドレッシング

抗酸化力



免疫力



機能性をメニューに活かす提案
が可能な 唯一の八百屋



ベジマルシェ(店舗) BtoC市場への挑戦

デリカフーズの考え方を具現化した
機能性野菜のショールーム。

日本で始めて野菜を「抗酸化力」「免疫力」「解毒力」の
機能別に分けて販売する店舗です。

機能性野菜の販売に加え、カップサラダや野菜ジュース
なども取り扱っています。

VegeMarché



東京都港区赤坂1-12-32 アークヒルズ アーク森ビル2F



抗酸化力



免疫力



解毒力





2 – 2 前期トピックス

TOPICS① 被災地支援

TOPICS② 提案営業の強化

TOPICS③ ISO22000認証取得

TOPICS④ 九州事業所の開設



TOPICS① 被災地支援

東日本大震災の被災地へいち早く 支援物資を送付

グループの中で、被災地に最も近い東京デリカフーズ株式会社は、震災発生の日後には被災地に向けて支援物資をお届けしました。

当社の野菜をはじめ、生活必需品を中心に4トンの支援物資を仙台市方面にお届けしています。

地域の復旧を後押し 朝市を開催し売上を全額寄付

東京デリカフーズ株式会社は、被災地支援のみならず所在地近隣の復旧にも力を注ぎました。

震災の影響で物流が滞る中、野菜の朝市を開催し地域住民の皆様が一刻も早く旧に復すよう、多くの社員が自主的に参加いたしました。

また、本朝市の売上金は全額地元足立区に寄付いたしました。



足立区より送られた感謝状



TOPICS② 提案営業の強化

重点課題

①提案営業強化によるシェア・エリアの拡大

②給食事業への販売拡大



研究・開発



FSモデルの確立



アンテナショップ



セミナー・勉強会・野菜塾(ベジセミ)による啓蒙活動

- 野菜についての勉強会
(生産者、流通、外食産業、消費者)
- 食と健康に関わるセミナー
- メニュー提案・食材提案・産地提案
- 共同研究・共同開発・研究発表
- 野菜訴求ピーアール



野菜を使ったレシピを紹介しています。





TOPICS③ 東京FSセンターでISO22000認証取得



東京デリカフーズ株式会社 FSセンター
東京都足立区六町四丁目12番12号
Tel.03(3858)1037

2月、東京FSセンターがISO22000
(食品安全マネジメントシステム)
認証取得



より高水準の衛生規格を望む顧客の獲得
につなげて参ります。



TOPICS④ 九州事業所の開設



東京デリカフーズ株式会社 九州事業所
福岡県古賀市鹿部335番地28号
Tel.092(410)5071

グループ初の九州での事業拠点が3月27日に開業。

- ・九州エリア産地開拓

より効率的な仕入を可能にします。

- ・集出荷拠点

九州地方全域の物流拠点として。

- ・産地提案、案内

- ・輸出入基地

アジアに近く、将来の海外進出拠点に。



3

I R Investor Relations

平成24年3月決算概要

業績推移

今期(平成25年3月期)計画

IR戦略



平成24年3月決算の概要

平成24年3月期 決算概要＜連結損益計算書＞

(百万円、%)	今期	前期	前年同期比	計画比	構成比
売上高	23,192	20,196	14.8	3.0	100.0
売上総利益	5,654	4,959	14.0	—	24.4
販売費及び一般管理費	5,038	4,698	7.3	—	21.7
営業利益	616	261	135.8	12.0	2.4
経常利益	589	227	158.8	13.0	2.5
当期純利益	235	84	179.6	△6.0	1.0

※計画比は平成24年1月25日発表の業績予測の修正に関するお知らせを基準にしております。

当社グループの強みである提案型営業を推進するなど各種施策の結果、売上高が拡大し、前期比では増収増益となりました。

また減損損失・固定資産除却損など76百万円を特別損失に計上しております。



平成24年3月決算の概要

平成24年3月期 決算概要＜連結貸借対照表＞

【主な資産】

(百万円、%)

科目	金額	増減額	前年同期比
流動資産	5,534	912	19.7
現金及び預金	2,483	155	6.7
売掛金	2,829	817	40.6
棚卸資産	107	24	29.6
その他	114	△85	△42.8
固定資産	5,090	128	2.6
有形固定資産	4,603	8	0.2
無形固定資産	42	4	12.8
投資その他の資産	444	115	35.1
資産合計	10,625	1,041	10.9

【主な負債・純資産】

(百万円、%)

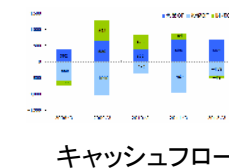
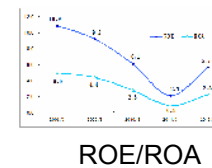
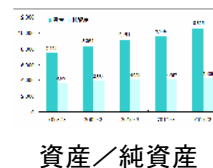
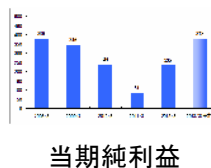
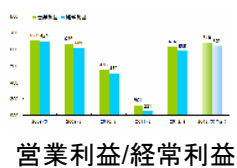
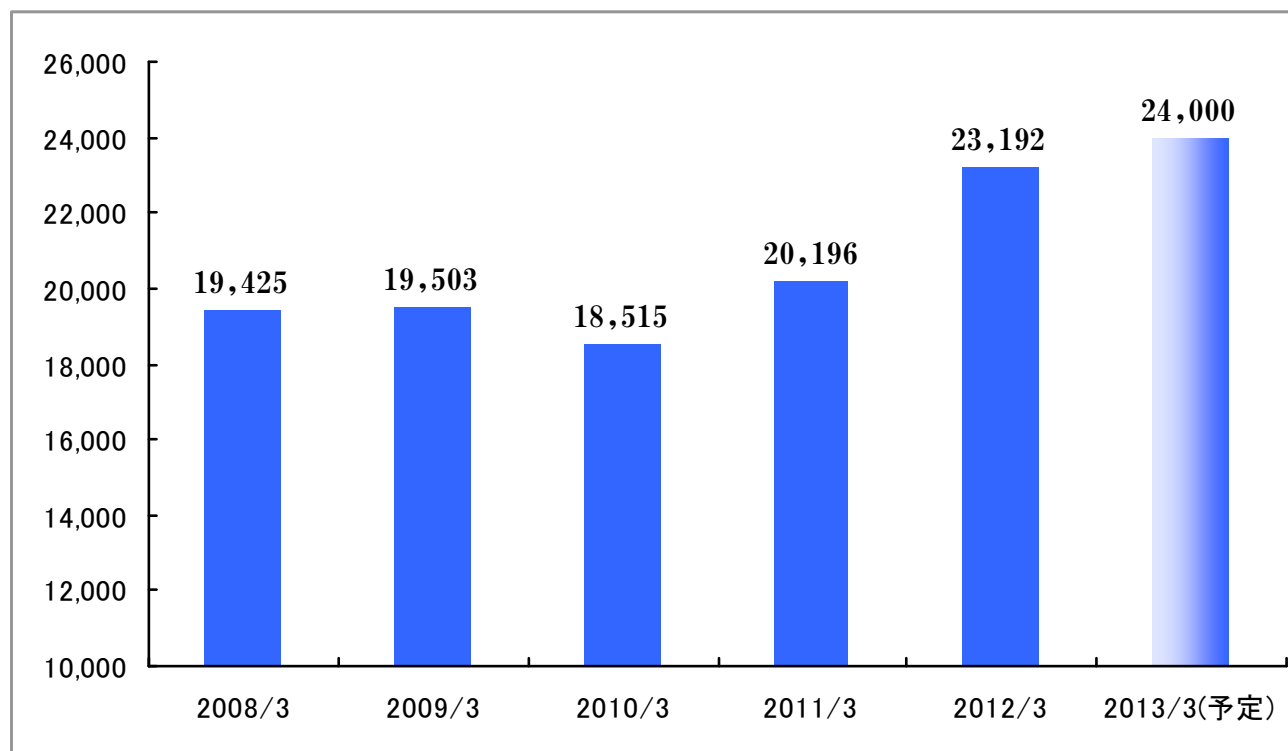
科目	金額	増減額	前年同期比
負債	6,389	872	15.8
買掛金	1,559	440	39.4
短期借入金 (1年内返済予定の長期借入金含む)	841	121	16.9
未払金	781	218	38.9
長期借入金	2,682	△58	△2.1
その他	524	149	40.0
純資産	4,236	168	4.2
株主資本	4,232	162	4.0
評価・換算差額等	3	6	△36.4
負債・純資産合計	10,625	1,041	10.9



業績推移①

売上高 過去5年の推移<連結>

単位:百万円

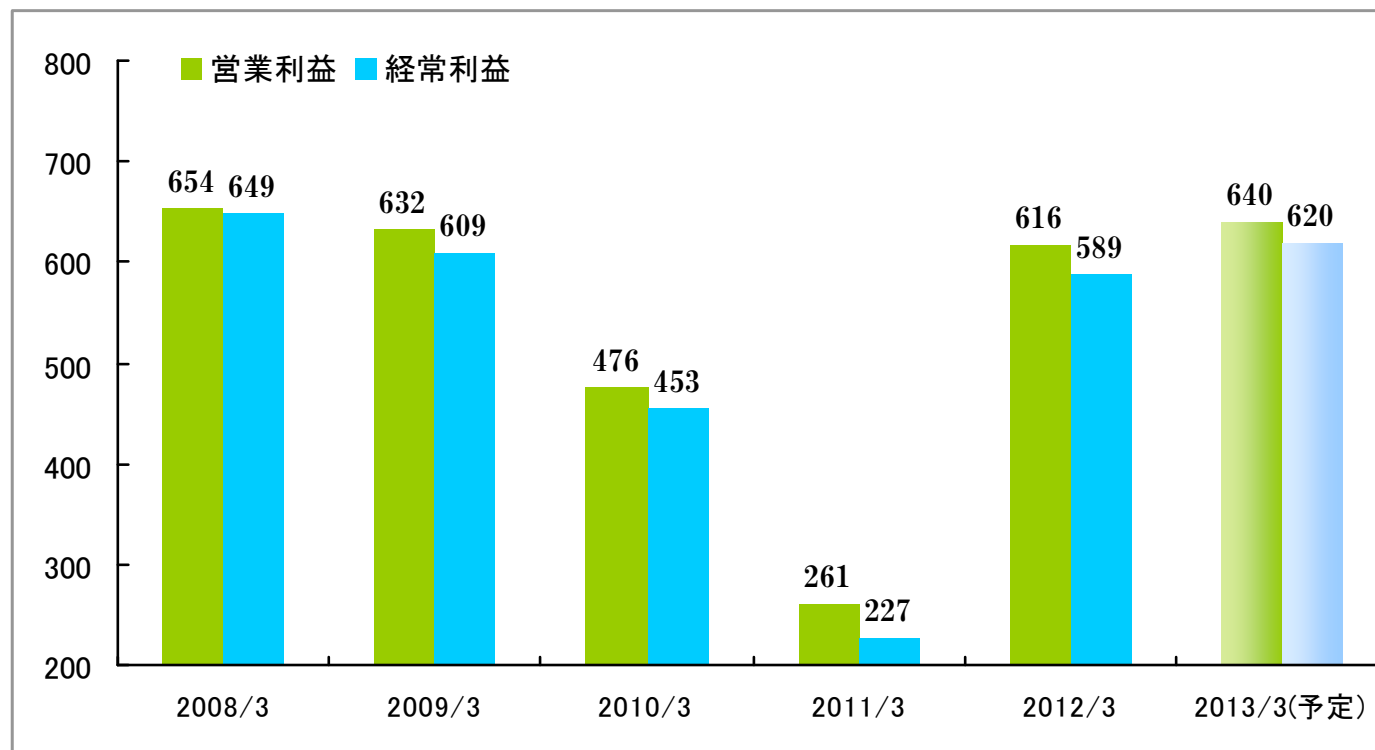




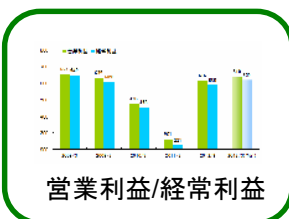
業績推移②

営業利益/経常利益 過去5年の推移<連結>

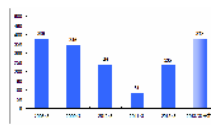
単位:百万円



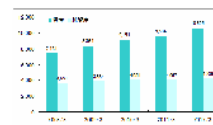
売上高



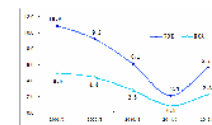
営業利益/経常利益



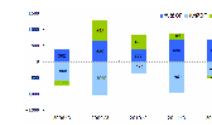
当期純利益



資産/純資産



ROE/ROA



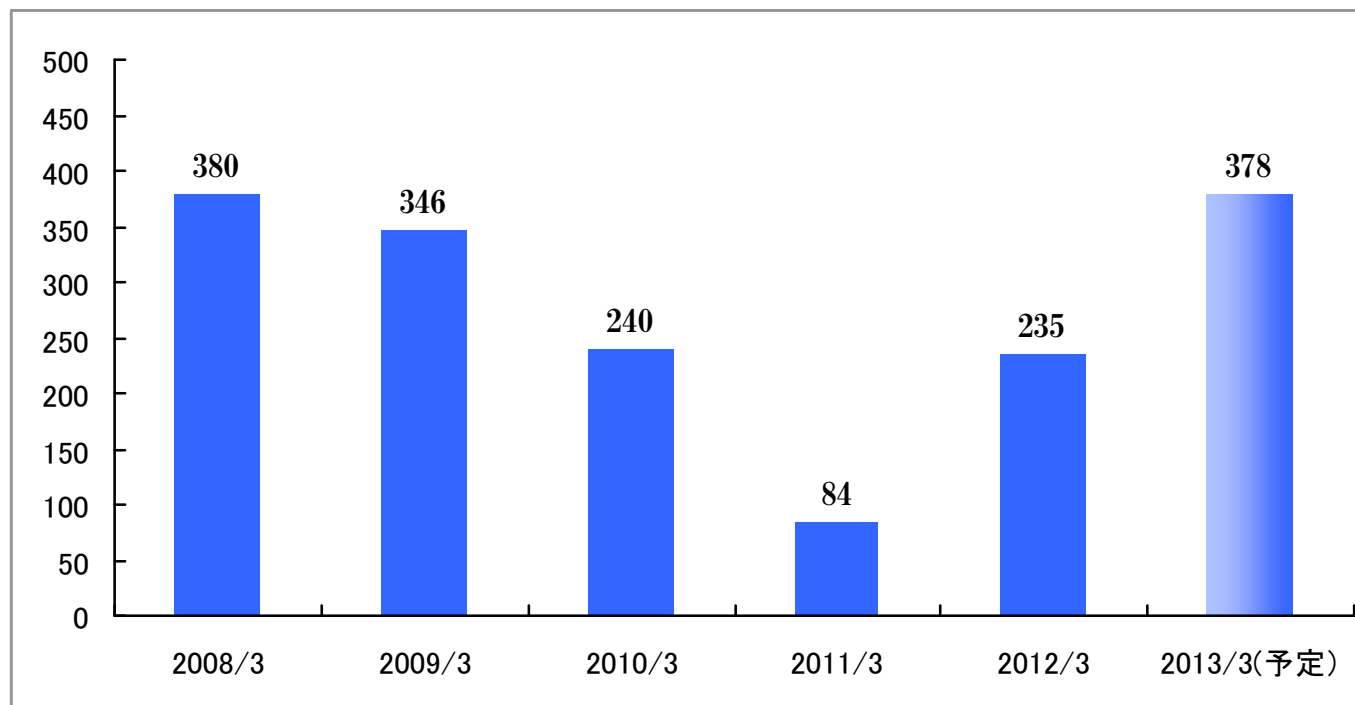
キャッシュフロー



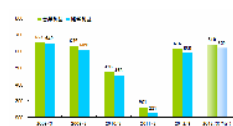
業績推移③

当期純利益 過去5年の推移〈連結〉

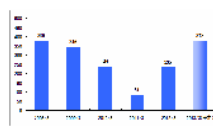
単位:百万円



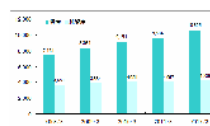
売上高



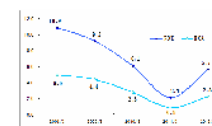
営業利益/経常利益



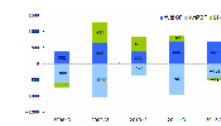
当期純利益



資産/純資産



ROE/ROA



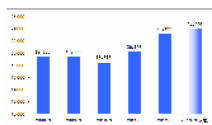
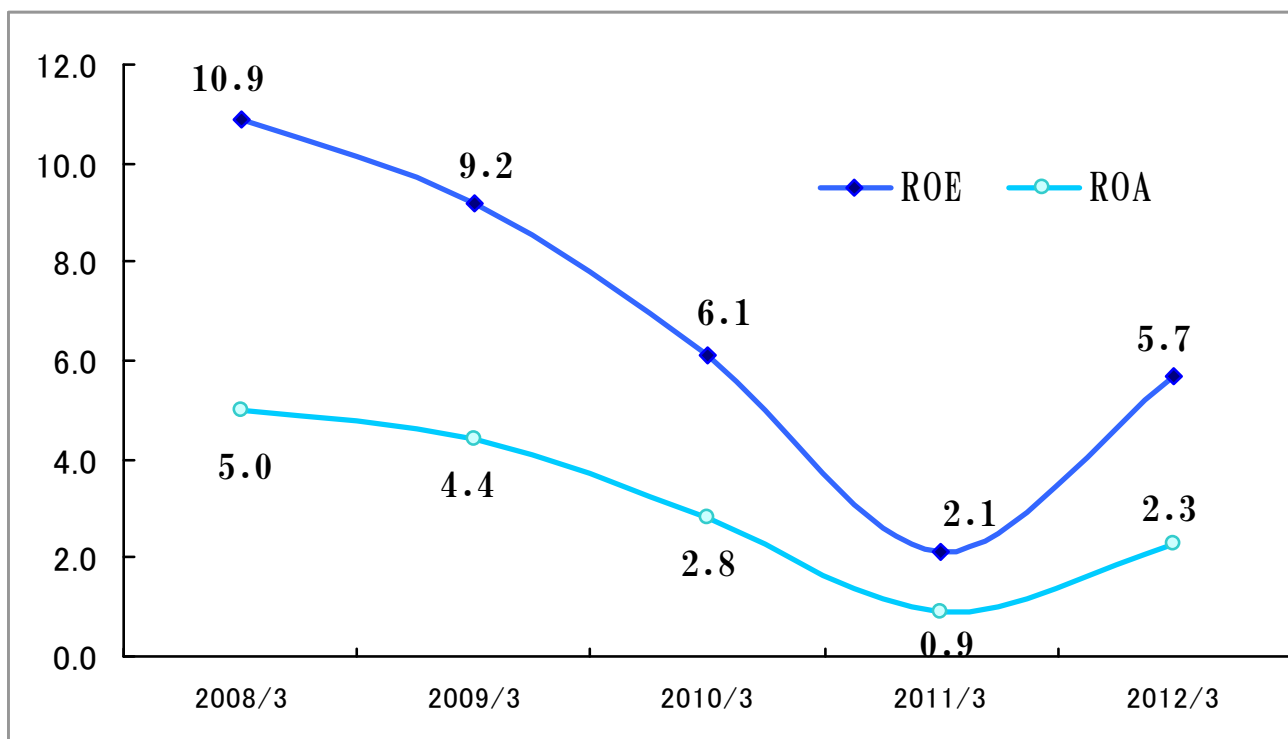
キャッシュフロー



業績推移⑤

ROA/ROE 過去5年の推移〈連結〉

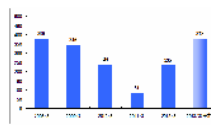
単位: %



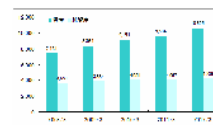
売上高



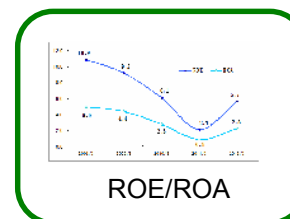
営業利益/経常利益



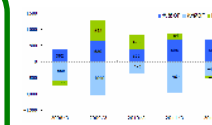
当期純利益



資産/純資産



ROE/ROA



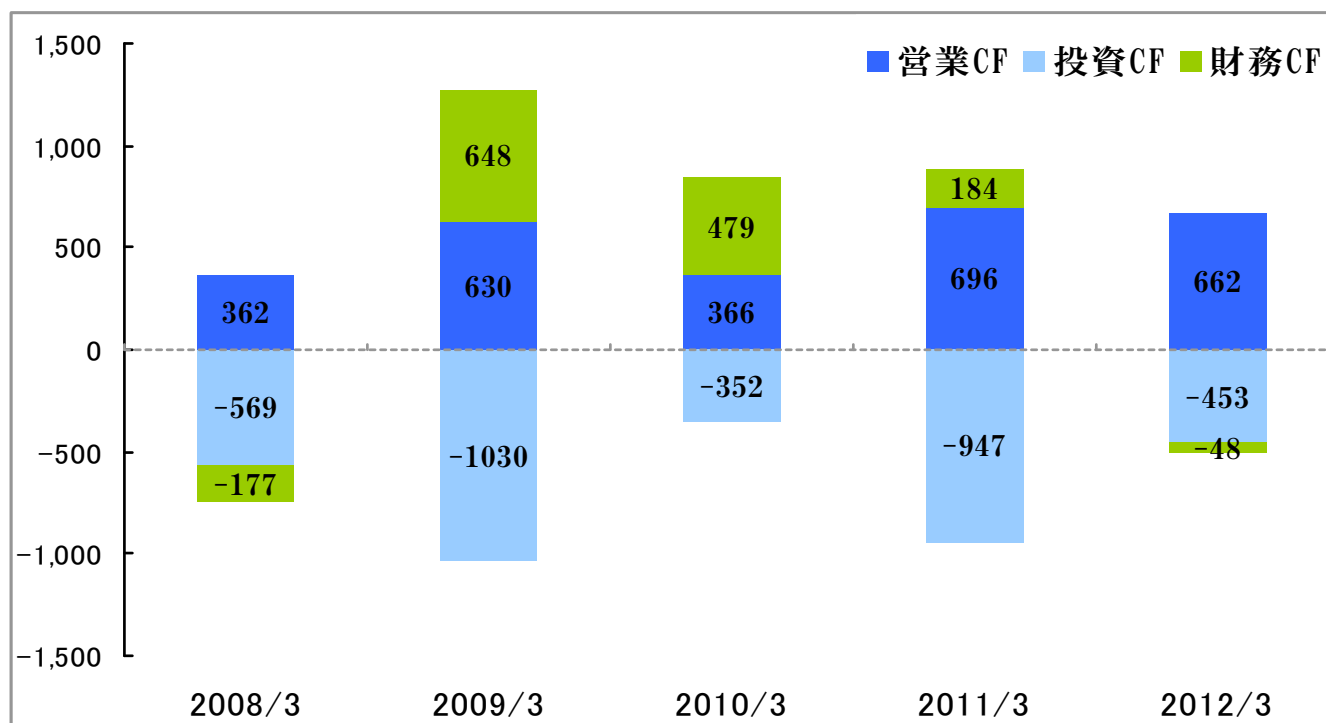
キャッシュフロー



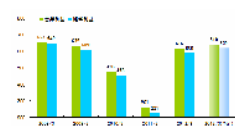
業績推移⑥

キャッシュ・フロー 過去5年の推移〈連結〉

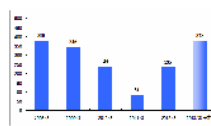
単位:百万円



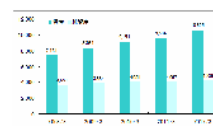
売上高



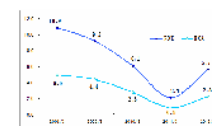
営業利益/経常利益



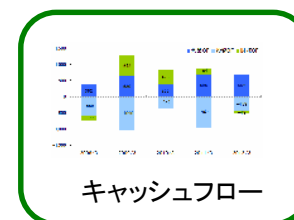
当期純利益



資産/純資産



ROE/ROA



キャッシュフロー



今期(平成25年3月期)計画

財務計画(見通し)

(百万円、%)

	通期	前年同期比	構成比
売上高	24,000	3.5	100.0
営業利益	640	3.9	2.7
経常利益	620	5.1	2.6
当期純利益	378	60.6	1.6
一株当たりの当期純利益	129.05円		

事業計画

売上拡大施策

- 事業拠点拡大
- 提案型営業による新規獲得・深耕
- 衛生環境向上による新規獲得
- 新分野(BtoC市場)への進出

コスト削減施策

- オートメーション化による労務費削減
- 仕入組織の再編
- 仕入拠点の確立
- 契約産地の新規開拓

IR戦略

株式の200分割・単元株制度の採用(平成24年4月)

株式分割・単元株制度採用の狙い

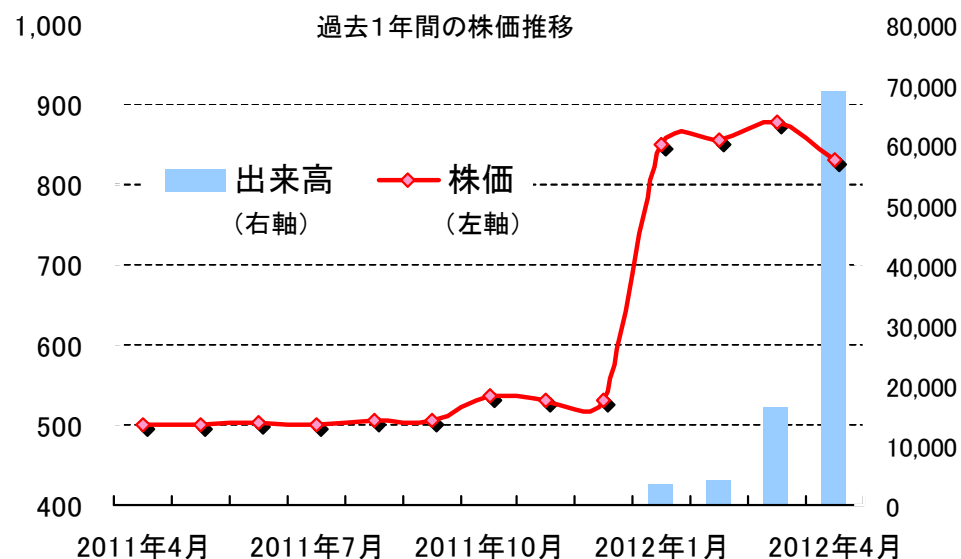
株式の投資単位あたりの金額を引き下げることにより、流動性の向上および投資家層の拡大を図ることを目的とする。(投資単位は従来の2分の1に)

株式分割前の発行済株式総数
15,605株

今回の分割により増加する株式数
3,105,395株

株式分割後の発行済株式総数
3,121,000株

株式分割後の発行可能株式総数
6,000,000株





IR戦略 ディスクロージャー

Webサイトを活用し、最新の業績や取り組みなどを積極的に皆様にお伝えしています。
また、ベジマルシェ通販やベジマルシェ通信「couleurs(クルール)」、各種セミナーなどを通し、外食・中食産業の方だけではなく、消費者の皆様への情報提供や野菜をさらに知っていただけるような活動を行っていく予定です。



デリカフーズWEBサイト



株主投資家の皆様向けページ



ベジマルシェ通信
「couleurs(クルール)」



ベジマルシェ通販サイト